



名古屋大学の留学生が新丸山ダム現場を視察

令和5年10月27日



Twitterはこちら

10/27(金)名古屋大学土木工学専攻のブータン・フィリピン・中国など11の国・地域からの留学生26名が、新丸山ダム本体工場の現場を視察されました。今回は、名古屋大学による国際的に活躍する人材育成の一環で、主に留学生を対象に実施する「国内でのICT技術の活用／DX推進の取組」の研修・見学するフィールドを、当事務所が提供・協力する形で行われたものです。留学生から多数の質問があり、通訳担当の学生を介して、無事対応することができました。

ダム本体工場の進捗を確認

ダム完成状況をAR（拡張現実）で体験



事業概要説明を学生が通訳

